

## 経皮的椎体形成術を受ける患者様へ

手術・検査内容:経皮的椎体形成術 入院期間:3日間

経過	入院	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目(退院)
達成目標	治療について理解が出来る	手術・麻酔の目的を理解し同意することができる 手術の状態が安定する	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である
治療・処置	術前オリエンテーション	手術着に着替えます 点滴があります 	抗生剤等の点滴があります 血栓予防の為専用のストッキングをはきます	傷の確認後退院です
検査			一般撮影(腰)・採血  	採血 
安静度	制限はありません	制限はありません	コルセット着用 帰室後はベッド上安静です 安静解除時間は看護師がお伝えします 	コルセット着用 移動が可能となれば退院です
リハビリテーション	理学療法士により術前検査があります			疼痛に合わせ離床をします。
リハビリテーション計画	リハビリテーション処方時はリハビリテーション総合実施計画書に準じて施行します			
食事	制限はありません ※夕食以降は絶食です・水分制限はありません	手術前は絶食です 	手術後は麻酔科の指示が出てから 飲水、食事(軽食)が可能 です/ 看護師が説明します	食事が出来ます ※指示された食事を提供します ※持ち込み食の摂取は医師の許可が必要です 
特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無 (どちらかに○)		栄養計画: 医師の指示により、病状状態にあった食事を提供します	
清潔	入浴をして入院して下さい/爪切りを実施してください			体を拭きます 
排泄	特に制限はありません		麻酔から覚醒後、トイレへの移動が可能です トイレの場合は看護師がお手伝いします	制限はありません
看護計画	目標が達成できるよう援助します			
薬	主治医より事前に中止するお薬があれば指示があります 持参いただいたお薬を確認させていただきます 現在服用中のお薬を全て確認させていただきます	痛みや吐き気がある場合はお薬を使用します。看護師にお伝え下さい 		
薬剤計画	薬の用法・用量・禁忌・相互作用などを確認し効果的な薬物治療が受けられるようにします			
その他	外来でお渡しした各種書類をご持参下さい	家族様は手術の1時間前に来院して下さい	家族様に手術後の説明があります	リハビリ病棟に転棟しリハビリをおこなう場合があります (病状により異なります)
在宅復帰支援計画	退院後の希望と生活で心配なこと(介護・経済面)を伺います	介護保険や利用できるサービスを説明し、必要時に退院先・サービスの手配を一緒に進めます /退院前に計画を最終確認します	必要時に、退院後の支援(ケアマネジャーなど)に情報を渡し、スムーズな生活開始をサポートします	
総合的な機能評価				

注1) 病状の変化、検査結果、または病院の空床状況によっては転室、転棟をお願いすることがあります。その節はご協力をお願いします。

注2) 病名などは現時点で考えられるもので、今後検査を進めていくに従って変わることもあります。

注3) 入院期間については現時点で予想されるもので病状により変わります。